

令和5年度

関連

「第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画」

ひと。しごと。くらし。 ずっと先の未来につなごう

事業

(案)

1 令和5年度の基本的な方向

- 「中山間地域振興計画」(第Ⅰ期:平成26年12月,第Ⅱ期:令和3年1月策定)に基づき,地域に暮らす方々が,将来に希望を持ち,「心豊かに,笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域」を目指して,多様な力でつながる《人》づくり,夢をカタチにできる《仕事》づくり,安心を支える《生活環境》づくりの三つを柱に,これまで関連施策を総合的に展開してきました。
- 特に第Ⅱ期計画においては,中山間地域を次世代に託すための力強い土台を築く期間として,デジタル技術を活用したスマートな里山づくりを進めることにより,持続可能な中山間地域の実現につなげることをとしています。
- また,依然として続く新型コロナウイルスの影響により,先行きが不透明な状況にあります,一方で,自然豊かな環境に対する関心や,デジタル化の進展に伴う多様で柔軟な働き方への社会全体の機運が高まりつつあるところです。
- こうした環境変化を,本県の特性を生かした適散・適集な地域づくりを進める好機としてとらえ,中山間地域の課題解決に向けて,引き続き,人づくりをはじめとするこれまでの取組の成果を踏まえながら,地域資源を生かした多様な主体による意欲あるチャレンジを積極的に後押しするとともに,デジタル技術を活用した取組を積極的に推進し,暮らしの豊かさや新しい価値の創造につなげてまいります。
- また,5月開催のG7サミットにより,世界中の人々の注目が広島に集まることから,これを契機として,中山間地域の魅力の発信をさらに図ってまいります。
- 施策の展開に当たっては,目指す姿を市町と共有し,三つの施策の柱に沿って,協働・連携した取組を推進し,施策の実効性を高めてまいります。
- こうした施策を通じて地域力の向上を図るとともに,中長期的な展望に立って,中山間地域の集落の実態を踏まえ,必要な生活機能,持続可能な地域運営の仕組みや最適化された行政サービスの在り方などについて,関係市町と連携しながら検討を進めてまいります。

2 計画の目指す姿と基本姿勢

目指す姿

里山・里海に象徴される人と自然が作り出す中山間地域ならではの資産が、守るべき価値あるものとして、内外の人々により引き継がれる中で、

地域への愛着と誇りの高まりが、将来への希望と安心につながり、心豊かに、笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域

基本姿勢

地域の基盤や特性を強みとして生かす

人のつながりや自然の豊かさなど、それぞれの地域が持つ資源や特性を「強み」として再認識し、眠っていた価値を引き出していくことによって、地域の価値向上につなげていきます。

価値に共鳴する人を増やし、支え合いを安心につなげる

中山間地域の「価値を維持・向上させる」ことの大切さに共鳴する多様な人材を地域内外で増やし、ともに地域の未来をつくる存在として認め合い、支え合うことによって、安心の醸成につなげていきます。

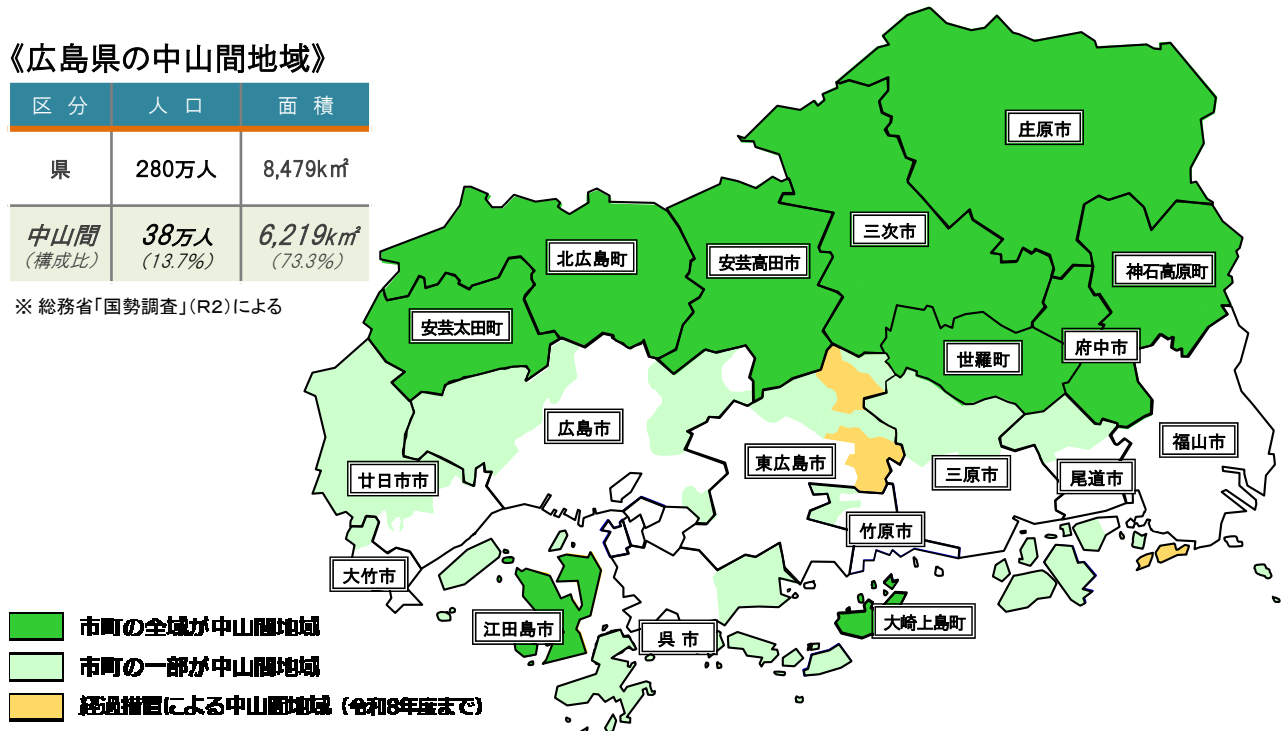
デジタルの力を取り込む

将来にわたって安心して暮らしを営むための新たな力となり得るデジタル技術を中山間地域の暮らしの中で分野横断的に実装することによって、新しい時代に対応した暮らしのモデルを創出します。

《広島県の中山間地域》

区分	人口	面積
県	280万人	8,479km ²
中山間 (構成比)	38万人 (13.7%)	6,219km ² (73.3%)

※ 総務省「国勢調査」(R2)による



3 計画に基づく施策体系

5年後の
目指す姿

施策の柱 (取組の方向)

施策の小柱

心豊かに、笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域

中山間地域の資源や特性が価値ある資産として引き継がれ、その豊かさに共鳴する人たちによって、
将来への「夢や希望」を託す、様々なチャレンジが始まっています

■ 多様な力でつながる
人づくり

協働・連携・交流

(1) 多様な主体による自主的・主体的な地域づくり

移住

(2) 若い世代を呼び込む地域環境の創造

教育

(3) 地域を誇り未来を創る人材を育てる教育

■ 夢をカタチにできる
仕事づくり

農林水産業

(1) 生産性の高い持続可能な農林水産業の確立

事業展開・創業支援

(2) 地域特性を生かした事業展開や創業の促進

観光

(3) 地域資源を生かし、つなげる、
魅力ある観光地づくり

■ 安心を支える
生活環境づくり

医療・介護

(1) 地域医療・介護提供体制の確保

居住環境

(2) 地域特性に応じた居住環境の整備

子育て支援

(3) 子育て環境の充実

環境保全

(4) 里山・里海の環境保全

危機管理

(5) 危機対処能力の向上

4 中山間地域振興計画関連主要事業の予算額等

第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画 関連主要事業の予算額

R4年度との比較 **R4** 107.2億円 ⇒ **R5** 129.9億円 (22.7億円増)
※令和3年度2月補正(5.6億円)を含む ※令和4年度2月補正(38.2億円)を含む

H20年度との比較 **H20** 51.3億円 ⇒ **R5** 129.9億円 (約2.5倍)
※ 新たな過疎対策を重点分野と位置付けた初の予算

【施策ごとの主な事業】

ひと

3.8億円

■多様な力でつながる **人**づくり

- ① ひろしま里山・人材力加速事業
- ② 元気さとやま応援プロジェクト
- ③ ひろしまスタイル定住促進事業
- ④ 「学びの変革」推進事業

しごと

91.4億円

■夢をカタチにできる **仕事**づくり

- ① 食のイノベーション推進事業
- ② ひろしま型スマート農業推進事業
- ③ チャレンジ・里山ワーク拡大事業
- ④ 企業立地促進対策事業
- ⑤ 観光地ひろしま推進事業

くらし

34.7億円

■安心を支える **生活環境**づくり

- ① 地域医療介護総合確保事業
- ② デジタル技術を活用した
中山間地域の生活環境向上事業
- ③ 広島型MaaS推進事業
- ④ 鉄道ネットワークを活かした
中山間地域の魅力向上事業
- ⑤ ひろしまの森づくり事業

注) 予算額は、「第Ⅱ期広島県中山間地域振興計画」に基づき、主に中山間地域に関わりの深い事業の予算額を合計したものであり、その他の「県内全域を対象に取り組む関連事業」の予算額は、別途(参考)として一覧にまとめている。

5 計画の推進に向けた施策別の主な取組

(1) 多様な力でつながる 人づくり

R5予算額 **3.8 億円**

目指す姿

第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画(抜粋)

- ◆ 地域に愛着や誇りを持つ人たちの一歩踏み出すためのチャレンジが次々と起こり、共感の輪が生まれています。また、地域に根差したリーダーが育ち、多様な人材のネットワークによって、地域資源を生かし、新たな価値を生み出す主体的な活動が展開されるとともに、地域の価値に共鳴する人たちの外部からの移住が進んでいます。こうした中で、コミュニティの力の再生に向けて、誰もが必要に応じて活躍の機会を得られる地域運営の新しい仕組みが構築され、地域の課題解決につながるモデル的な取組が始まっています。
- ◆ また、地域の資源と呼べるスポーツを通じて、地域ならではの特色を生かした取組が始まり、参加や交流を通じて、自らの地域に愛着や誇りを持つ人々が増え、地域アイデンティティが高まってきています。
- ◆ さらに、次代を担う子供たちには、学校と地域が連携して、未来を創る人材としての資質や能力を伸ばす機会が確保され、地域に誇りを持ち、将来の担い手として育成される環境が整いつつあります。

《目指す姿を実現するための施策》

協働・連携・交流

① 多様な主体による 自主的・主体的な地域づくり

主な枠組み

- 地域における《つながり力》の強化と人材の育成・ネットワークづくり
- 持続可能な地域運営の仕組みづくり
- スポーツを通じた地域活性化

移住

② 若い世代を呼び込む 地域環境の創造

主な枠組み

- 東京圏等からのU Iターン等の促進
- 地域特性を強みとして生かした受入態勢の強化

教育

③ 地域を誇り未来を創る 人材を育てる教育

主な枠組み

- 地域の次代を担う人材の育成
- 地域の内外から選ばれる魅力ある学校づくり
- 里山・里海体験の推進

① 多様な主体による自主的・主体的な地域づくり

人口減少等が進む中地域を山間支えていくため、地域づくりに取り組む多様な人材の裾野の拡大や、チーム500の登録者が地域を巻き込み、地域と協働して行う、新たなチャレンジを後押しするとともに、協働による持続可能な地域運営の仕組みづくりに市町と連携して取り組む。

また、スポーツの様々な力を活用して、地域の活性化や一体感を醸成するため、スポーツを核とした地域づくりを推進する。

主な指標	現状値	目標値
◇ 人材プラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」の登録人数	(R3) 493人	(R5) 555人
◇ 地域の資源と呼べるスポーツを活用して地域活性化を図っている市町数	(R4) 8市町	(R5) 10市町

【主な事業】

● 地域における《つながり力》の強化と人材の育成・ネットワークづくり

多様な人材の地域づくりへの活動参画を加速させるため、関心層の拡大に向けた機運醸成を図るとともに、新たな人材の育成や人材プラットフォームを活用した実践者の活動支援、ネットワーク化を推進

■ ひろしま里山・人材力加速事業【一部新規】 39百万円

【地域づくり活動への機運醸成】

- ・ 「ひろしま さとやま未来博2021」参加者の地域づくり活動への参画に向けた事業の実施
- ・ 地域づくり実践者層の掘り起こしとつながりづくりの実施(新規)
- ・ 里山資源を生かした取組の好事例の表彰を行う「ひろしま里山グッドアワード」の実施

【新たな人材の育成】

- ・ 地域づくりのノウハウを学ぶ「ひろしま《ひと・夢》未来塾」(第9期)の開講

【チーム500を活用した活動の活性化】

- ・ 産学金官で構成する「さとやま未来円卓会議」による助言
- ・ 自立的な活動実践に向けたクラウドファンディング(注)活用支援 など

注) クラウドファンディング
インターネット上で多数の人から
資金を募る仕組み

■ 元気さとやま応援プロジェクト 53百万円

- ・ チーム500の登録者が行う、地域に密着した新たな活動の立ち上げに必要な経費を支援

● 持続可能な地域運営の仕組みづくり

人口減少が加速し、小規模・高齢化が進む地域において、多様な主体が連携して取り組む柔軟な地域運営や創意工夫を生かした課題解決の取組を支援

■ 住民自治組織持続可能性創出モデル推進事業【新規】 5百万円

- ・ 地域の将来を見据えた課題解決に向けて住民自治組織が行う取組への支援

■ 中山間地域活性化推進費【一部新規】 20百万円

- ・ 中山間地域の集落の実態を踏まえ、厳しい状況に置かれる集落に住み続ける住民が安心して暮らし続けることができるための対策を検討

〔集落の状況把握〕

令和3年度までに実施した集落実態調査の結果、特に条件の厳しい集落を継続して調査

〔中山間地域の集落の将来像の検討〕(新規)

中山間地域において必要な生活機能及びその確保の方策や持続可能な地域運営の仕組みや最適化された行政サービスのあり方を市町と連携して検討

〔中山間地域の集落の将来像の共有〕(新規)

地域住民などを対象としたシンポジウムを開催

● スポーツを通じた地域活性化

地域が有する多様なスポーツ資源を生かし、スポーツを核とした豊かな地域づくりを推進

■ スポーツを活用した地域活性化推進事業 7百万円

- ・ 県内各市町の実施するわがまち♥スポーツへの支援
- ・ スポーツを活用した地域活性化の取組に向けた機運醸成
- ・ 地域のスポーツ資源を活用した、県民の関心を高める仕組みづくり
- ・ スポーツアクティベーションひろしま(SAH)の組織運営

② 若い世代を呼び込む地域環境の創造

コロナ禍を背景に高まっている地方への移住ニーズを取り込むため、「都市と自然の近接性」という広島らしいライフスタイルを提案し、その実現を後押しすることにより、移住・定住を促進する。

また、市町や関係団体等との連携、移住支援金等の交付などにより、移住者の受け皿づくりをより強化する。

主な指標	現状値	目標値
◇ 移住希望地域ランキング	(R3) セミナー部門 1位 窓口相談部門 6位	(R5) セミナー部門 5位以内 窓口相談部門 5位以内
◇ 県外からのUIターン 転入者数(全域過疎市町)	(R3) 235人	(R5) 291人

【主な事業】

● 東京圏等からのUIターン等の促進

「都市と自然の近接性」などの地域特性を生かした広島らしいライフスタイルの魅力の発信やAIを活用した相談対応システムによるマッチングなどの取組を推進

■ ひろしまスタイル定住促進事業【一部新規】 169百万円(うち80百万円)

〔広島らしいライフスタイルの魅力発信〕

- ・ 移住ウェブサイト「HIROBIRO.」の運用・情報提供の充実
- ・ 県内市町及び関係団体との連携による「広島暮らし」の魅力を発信するためのイベント開催
- ・ 移住を検討している方々のニーズや課題等を踏まえた、セミナー形式での情報発信

〔移住希望者と地域のマッチング〕

- ・ 移住相談に係る総合窓口「ひろしま暮らしサポートセンター」の運営
- ・ 移住検討熟度の向上を促進するための来広支援
- ・ AIを活用した相談対応システム「あびいちゃん」の運用、「HIROBIRO.」との連携機能の強化

● 地域特性を強みとして生かした受入態勢の強化

地域における移住の受け皿づくりや市町が取り組む空き家対策の取組を支援

■ (再掲)ひろしまスタイル定住促進事業【一部新規】 169百万円(うち89百万円)

〔移住者に対する受け皿づくり〕

- ・ 地域における移住相談対応、情報発信の促進など、移住の受け皿づくりの強化
- ・ 移住支援金・起業支援金の交付(新規)
- ・ 県内23市町及び関係団体等と構成する交流定住促進協議会への参画

■ 空き家活用検討事業 9百万円

- ・ 空き家バンクHPによる情報発信、市町や地域への専門家派遣 等

③ 地域を誇り未来を創る人材を育てる教育

次代を担う子供たちが、地域への愛情や誇りを持ち、自らの創造力や行動力で、地域の新たな担い手として、これからの時代を切り拓いていく力を身に付けていけるよう、地域や市町と連携して、各学校における地域の特色を生かした教育活動を展開する。

主な指標	現状値	目標値
◇ 地域に貢献しようとする意欲を持っている 中山間地域の県立高校生徒の割合	(R3) 64.9%	(R5) 80.0%

【主な事業】

● 地域の次代を担う人材の育成

中山間地域の次代を担う高校生が、地域・市町と一体となり、地域の活性化に向けた取組を行うことを通して、地域に貢献しようとする意欲の向上を図り、次世代のリーダーとして活躍できる人材となるよう支援

■ 中山間地域の次世代を担うリーダーの育成（非予算）

- ・ 学校、地域関係者、市町によるプロジェクト・チームで作成した地域活性化プランの実施・継続

● 地域の内外から選ばれる魅力ある学校づくり

平成26年2月に策定した「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」（平成26年度～令和5年度）を着実に推進し、地域の特性や社会のニーズに対応した魅力ある高等学校を整備

また、令和3年度にモデル校を対象に整備した遠隔教育システムを活用することにより、中山間地域等に位置する県立高等学校において、探究的な学びの実現等につながる教育活動を展開

■ 「学びの変革」推進事業 ※一部 23百万円

- ・ 中山間地域の学校における遠隔教育の推進

■ 魅力ある高校づくり推進事業 ※一部 8百万円

- ・ 1学年1学級規模校等の活性化に向けた取組に対する支援
- ・ 「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」の推進に係る調査・研究
- ・ 後継計画の策定及び公表

（その他の関連事業）

- 小中学校教育環境充実支援事業

● 里山・里海体験の推進

豊かな自然や伝統文化など、中山間地域ならではの特色を生かした多様な体験活動を推進するため、活動内容の充実に向けた市町の取組を支援

■ 「山・海・島」体験活動ステップアップ事業 16百万円

- ・ 連絡協議会や教職員研修会の開催
- ・ 地域の資源を活用した体験活動の好事例等の情報を発信
- ・ 体験活動を引率する教職員の旅費を支援

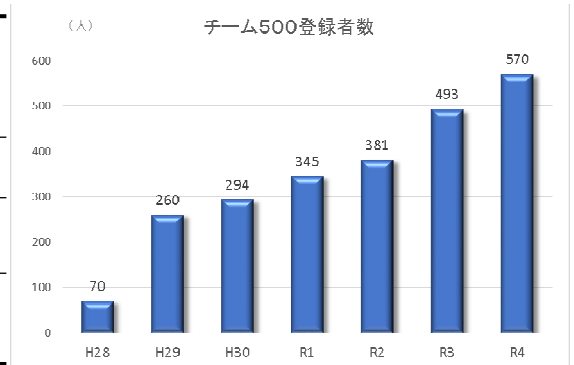
《トピックス》

■ ひろしま里山・チーム500の登録者が500人を突破しました

ひとづくりの着実な推進に向けて、地域と関わりを持ちながら様々な活動に取り組んでいる実践者がつながり、地域づくり活動の輪を更に広げていくための登録型人材プラットフォームとして平成28年12月20日に設立した「ひろしま里山・チーム500」の登録者が、令和4年6月に500人を突破

【ひろしま里山・チーム500（ゴーマルマル）】

概 要	地域づくりをリードする人材の活動継続やネットワークの拡大を支援するための人材プラットフォーム
設 立 日	平成28年12月20日
登 録 者 数	H28: 70 人 → R4: 570 人(12月末現在)
登 録 要 件	地域づくりの取組を自ら企画し、年1回以上実施していること



R4はR4年12月末現在

【元気さやま応援プロジェクト】

「ひろしま里山・チーム500」の登録者が、地域を巻き込み、地域と協働して行う新たな活動が展開されています。地域住民同士の交流の拡大や仕事づくりを通じた地域とのつながりが生み出されつつあり、地域の方々からも期待の声が寄せられています。

(地域住民同士の交流の拡大)

主な取組内容	地域の声
学生と地域住民の協働・共創の拠点づくり	空き店舗が、活気を生み出す場所に再生されることへの期待が寄せられている。
次世代への継承に向けた伝統行事の映像化	盆踊りの映像化の取組が地元ケーブルTVで紹介され、地域の方から感謝の言葉が寄せられた。

(仕事づくりを通じた地域とのつながりづくり)

主な取組内容	地域の声
空き家を活用した温泉の復活	温泉復活に向けて地元のガイドの会立ち上げの提案があり、一緒に活動を始めることとなった。
地域の活性化に向けたシェアキッチン開設	シェアキッチン利用者が提供する様々なおやつを日替わりで購入できるようになり、地域の人たちが来店を楽しみにしている。



交流拠点での中学生による自主運営授業



地域の伝統行事「納涼盆踊り」の収録風景

《トピックス》

■ 広島県への移住希望者や関心を持つ人が増えています

瀬戸内ライフやウィズコロナにおける働き方やライフスタイルの価値観の変化を踏まえたテーマによるセミナーや移住相談会など、地域資源や魅力を生かした多様な暮らし方の提案・発信により、移住相談は大きく増加し、令和3年の都道府県の「移住希望地域ランキング」では、セミナー部門で1位、窓口相談部門で6位にランクアップ

また、利便性を高める機能を拡充し、東京相談員のノウハウを取り込んでいるAI移住相談は、登録者数が6万5千人を超える規模に拡大

【移住希望地域ランキング】

順位	H26
1位	山梨県
2位	長野県
3位	岡山県
4位	福島県
5位	新潟県

：

18位	広島県
-----	-----



順位	R3	
	セミナー部門	窓口相談部門
1位	広島県	静岡県
2位	愛媛県	福岡県
3位	長野県	山梨県
4位	北海道	長野県
5位	福島県	群馬県
6位	静岡県	広島県

【年代別移住相談者の割合】

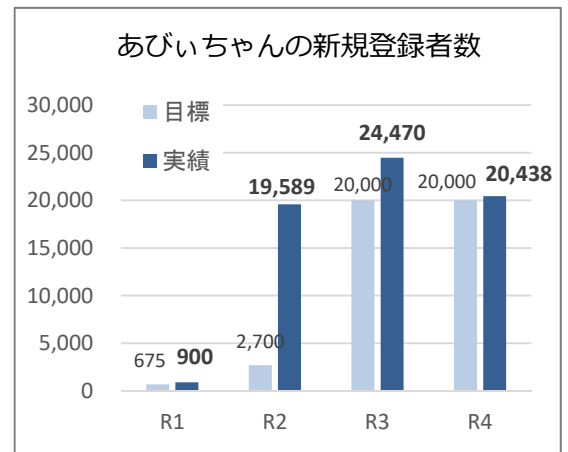
年度	H26	R3
相談件数	816 件	4,532 件
20代まで	11.5%	21.8%
30代	35.4%	28.8%
40代	22.5%	28.7%
50代	21.9%	14.6%
60代以上	8.6%	6.1%



ひろしま暮らしサポートセンター
相談員 市林 理緒

【AIを活用した移住相談アプリ】

名称	ひろしまライフスタイリスト「あびいちゃん」
登録者数	65,397人 (R4年12月末時点)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 東京相談員のノウハウである「相談者に寄り添った対話」により移住情報を提供 東京相談窓口や企業情報など、リアルな受け皿へ案内



R4はR4年12月末現在

(2) 夢をカタチにできる 仕事づくり**R5予算額 91.4 億円****目指す姿**

第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画(抜粋)

- ◆ 中山間地域に暮らしながら、働き続けられる環境が維持され、多様な企業や人材が、地域ならではの資源や基盤を生かして、新たな事業にチャレンジしています。
- ◆ とりわけ、中山間地域の基幹産業である農林水産業では、デジタル技術を導入しながら生産性を向上させ、地域資源や雇用労働力を有効に活用しつつ規模拡大に取り組むなど、持続可能な企業経営にチャレンジする担い手が増加しています。
- ◆ 観光面では、サイクリング、カヤックなどの体験や地域で育まれてきた伝統芸能の鑑賞、情緒あふれる古民家での宿泊体験など、中山間地域の資源を生かした観光サービスや観光商品等が充実し、国内外からの多くの観光客が周遊しています。

《目指す姿を実現するための施策》**農林水産業**

主な枠組み

**① 生産性の高い持続可能な
農林水産業の確立**

- 農業 ~地域の核となる力強い経営体の確保・育成
- 畜産業 ~持続可能な広島和牛生産体制の構築
- 林業 ~森林資源経営サイクルの構築・
森林資源利用フローの推進
- 水産業 ~持続的かつ安定的な水産資源の
生産供給体制の構築
- 持続的な農業生産活動の推進

事業展開・創業支援

主な枠組み

**② 地域特性を生かした
事業展開や創業の促進**

- 新たな事業展開に向けたチャレンジ支援
- 中小企業の成長支援
- 雇用機会の創出・就業促進
- 地域資源の販路・消費拡大

観光

主な枠組み

**③ 地域資源を生かし、つなげる、
魅力ある観光地づくり**

- 国内外の観光客に向けた
観光資源の磨き上げと周遊促進

① 生産性の高い持続可能な農林水産業の確立

中山間地域において、農林水産業が所得や雇用を生み出すためには、経営力の高い経営体を中心となって、持続可能な生産構造を構築していく必要がある。

そのため、地域の核となる企業経営体の育成や新規就業者等の確保、木材需要の創出や県産材の安定的・効率的な供給体制の構築、かきの安定生産体制の構築や水産資源の回復に向けて、資源管理や漁場環境の整備などに取り組む。

さらに、デジタル技術を活用したスマート農林水産業の実装化等による生産性の向上、広島和牛の生産体制の構築、県産農林水産物のブランド化・高付加価値化などに取り組む。

物価高騰の影響を受ける事業者に必要な支援が行き届くよう、国や市町とも連携して、時機を逸することなく、必要な対策を講じる。

加えて、5月の広島サミットの開催を契機として、本県の多彩な食資産を磨き上げ、効果的に情報発信することにより、農林水産物の販路・消費拡大につなげる。

主な指標	現状値	目標値
(農業) ◇ 農業生産額(畜産を除く)	(R3) 668億円	(R5) 728億円
(畜産業) ◇ 広島和牛を肥育する企業経営体の飼養頭数	(R3) 2,097頭	(R5) 2,510頭
(林業) ◇ 経営力の高い林業経営体数	(R3) 7社	(R5) 11社
(水産業) ◇ 海面漁業※生産額800万円以上の担い手生産額〔※いわし類を除く〕	(H30) 7億円	(R5) 7億円

【主な事業】

● **農業** ～地域の核となる力強い経営体の確保・育成

農産物の生産額の増加を図るため、経営規模の拡大を目指す経営体の企業経営への転換支援や生産から販売に係る様々な企業と経営体が連携した新たなビジネスの創発、スマート農業技術を活用した生産性向上の取組を支援

■ **経営力向上支援事業** 89百万円

- ・ 人材育成、予算・実績管理など重点課題の解決に向け専門家を派遣
- ・ 県立広島大学との連携による農業MBAスクールを開講
- ・ 経営課題の見える化等を可能にする電子カルテシステムの運用 など

■ **食のイノベーション推進事業** 50百万円

- ・ 経営体と様々な企業が連携した、新たなビジネスを創発するプロジェクトの立ち上げを支援
- ・ 新商品や新サービスの提供に向け、プロジェクト実行計画に基づく新たなビジネスの実現を支援

■ **ひろしま型スマート農業推進事業** 178百万円

- ・ 中山間地域に対応した、スマート農業技術の確立に向けた実証試験の実施
- ・ メーカー等によるコンソーシアムでのカスタマイズ化によるひろしま型農業経営モデルの構築

● **畜産業** ～持続可能な広島和牛生産体制の構築

持続可能な和牛生産体制の構築に向けて、広島和牛ブランドの付加価値向上に取り組むとともに、乳用牛への受精卵移植による和牛の増産や肥育経営体への安定的な受精卵産子の供給に向けた仕組みの構築等を実施

■ **広島和牛ブランド構築事業** 38百万円

- ・ 料理人と連携した営業実証の強化や魅力の訴求により、高級飲食店での取り扱いを拡大する取組を実施
- ・ 様々な媒体を活用した情報発信や、観光業などとの連携による認知向上に向けたPRを実施

■ **広島和牛経営発展促進事業【一部新規】** 21百万円

- ・ 高い受胎率が期待できる和牛受精卵の供給の実施
- ・ 広島血統子牛の繁殖牛としての保留等に対する支援(新規)
- ・ 畜産経営体の経営発展課題を解決するための支援 など

● **林業** ～森林資源経営サイクルの構築・森林資源利用フローの推進

林業・木材産業の成長産業化の実現のため、木材需要の創出対策や県産材の安定的・効率的な供給体制の構築について、川上から川下までの総合的な取組を実施

■ **林業・木材産業等競争力強化対策事業** 469百万円 【2月補正を含む】

- ・ 県産材の安定供給のための搬出間伐、路網整備、高性能林業機械の導入を支援
- ・ 県産材の利用拡大に向けた加工流通施設の整備を支援

■ **森林経営管理推進事業【一部新規】** ※一部 136百万円

- ・ 長期的な森林経営に向けて経営改善に取り組むリーディングモデルとなる経営体の育成を支援
- ・ 低コスト再造林技術の確立・普及やシカ被害抑制のための捕獲人材の育成等を実施(新規) など

● 水産業 ～持続的かつ安定的な水産資源の生産供給体制の構築

瀬戸内の地魚の持つ強みや特長を生かした広島への食のブランド化の取組を推進し、瀬戸内の地魚の認知・評価を高め、消費拡大につなげることにより、漁業経営の収益性向上を図るとともに、持続的な沿岸漁業を構築

また、デジタル技術の活用によるかき養殖の生産安定化や、水産資源回復に向けた漁場環境改善等により、かき及び瀬戸内の地魚を安定的に供給する体制を構築

■ 水産業スマート化推進事業【一部新規】 42百万円

- ・ かき養殖におけるデジタル技術の活用
- ・ 海面漁業におけるICT漁獲技術の実証及び技術習得に対する支援(新規)
- ・ 水産資源の回復に向け、海底耕うん後の環境改善効果の検証などの実施

■ 瀬戸内地魚のブランド化推進事業 18百万円

- ・ 飲食店における営業実証
- ・ 地魚の魅力を生かした商品開発
- ・ 地魚のブランド化に向けた情報発信及び連携体制の強化

● 持続的な農業生産活動の推進

効果的な鳥獣被害防止対策を推進するため、市町単位で人材育成や被害防止施設等の対策を重点的に実施するとともに、持続的な農業生産活動を通じた農地の公益的機能の維持を図るため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための活動を支援

■ 鳥獣害に強い集落等育成推進事業 210百万円

- ・ 鳥獣被害対策指導者等の育成や捕獲技術の向上を図るための各種研修等の実施

■ 農業・農村多面的機能支払事業 953百万円

- ・ 持続的な農業生産活動を通じた農地の公益的機能の維持を図るため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための地域活動や道水路や農村環境の適切な保全活動を支援

● 物価高騰による影響の緩和

- 肥料価格高騰緊急対策事業 115百万円【2月補正】
 - ・ 肥料価格の高騰が農業経営に及ぼす影響を緩和するため、その影響額を緊急的に支援
- 配合飼料価格高騰緊急対策事業 2,822百万円【2月補正】
 - ・ ウクライナ情勢等を背景とした配合飼料価格の高騰が畜産経営に及ぼす影響を緩和するため、その影響額の一部を緊急的に支援
- 酪農経営改善緊急支援事業【新規】 201百万円【2月補正】
 - ・ 酪農経営体に対して子牛の市場取引価格の下落に応じた緊急的な支援
- 漁業経営改善緊急支援事業 50百万円【2月補正】
 - ・ 燃油価格の高騰が漁業経営に及ぼす影響を緩和するため、その影響額を緊急的に支援

● 広島サミットを契機とした県農林水産物の魅力発信

- 広島サミットを契機とした県産農林水産物魅力発信事業 78百万円
 - 〔県産農林水産物を活用した食の磨き上げ支援事業〕
 - ・ 多様な主体と共創したひろしまの食の磨き上げ支援
 - 〔県産農林水産物を活用したおもてなし支援事業〕
 - ・ 県産農林水産物を活用したおもてなし・PR支援
 - ・ サミット前後におけるホテル等での県産農林水産物の提供に向けた マッチング支援
 - 〔ひろしまの食の魅力発信支援事業〕
 - ・ 磨き上げたひろしまの食について様々な機会を捉えたPR
 - ・ 国内メディア・県民向けの情報発信
 - ・ 県産農林水産物を活用する飲食店の可視化等おもてなし環境の整備

② 地域特性を生かした事業展開や創業の促進

事業所や商店の閉鎖により就業の場が減少している中山間地域において、コロナ禍で広がっているリモートワーク等の働き方の変化を追い風に、サテライトオフィスの誘致促進や中小企業による外部人材導入の取組を支援する。

主な指標	現状値	目標値
◇ 外部人材を活用する中小企業数 (全域過疎市町)	(R3) 2社	(R5) 40社
◇ 行政・経済団体・金融機関等連携による 「オール広島創業支援ネットワーク」を利用 した年間創業件数 (全域過疎市町)	(R3) 15件	(R5) 現状水準を維持

【主な事業】

● 新たな事業展開に向けたチャレンジ支援

企業のサテライトオフィスの誘致や即戦力となる専門人材の確保に取り組む市町を支援するとともに、「オール広島創業支援ネットワーク」を通じて、意欲ある人材の創業や新たな事業展開を支援

■ チャレンジ・里山ワーク拡大事業 58百万円

- ・ 市町が実施する誘致・受入体制の強化等に対する支援
- ・ 地方進出に意欲を持つ首都圏企業とU・ターン希望者とのマッチング など

■ 創業環境整備促進事業 (県内全域を対象とする関連事業)

- ・ 「オール広島創業支援ネットワーク」を通じた、創業から創業後の成長までの切れ目ない包括支援
- ・ ひろしま創業サポートセンターを軸としたハンズオン型の創業支援

● 中小企業の成長支援

中山間地域において、人材不足などの課題を抱える中小企業が、外部人材を活用して自社の経営課題に継続的に取り組んでいくための意識啓発の取組を推進
また、経営力強化に向け、専門家チームによる集中支援や経営セミナー等を実施

■ 中山間地域外部人材活用支援事業【一部新規】 10百万円

- ・ 外部人材の効果的な活用に向けた市町が主催するセミナーへの講師の派遣
- ・ セミナー参加企業に対する外部人材活用に向けたフォローアップ
- ・ 外部人材の活用モデル創設に向けた市町の取組を支援(新規)

■ 中小企業イノベーション促進支援事業 (県内全域を対象とする関連事業)

- ・ 専門家チームによる集中支援や技術・経営力評価書の発行を通じた経営支援
- ・ データの分析・活用方法やイノベーションを創出する組織づくりのための学びの場の提供

● 雇用機会の創出・就業支援

中山間地域への企業誘致を促進するため、当地域への立地企業に対する雇用奨励金を拡充する市町への支援等

■ 企業立地促進対策事業 ※一部 28百万円

- ・ 市町が中山間地域で雇用奨励金制度を拡充した場合に、支援額の一部を補助(市町補助)
- ・ 情報サービス業等のオフィス誘致における市町の補助(賃料・通信回線使用料)と同額を補助
- ・ 中山間地域における、企業人材転入助成の対象者要件の緩和及び助成率のかさ上げ など

● 地域資源の販路・消費拡大

中山間地域の中小企業等の販売力強化に向け、商工会等を通じた商品開発などの経営改善を支援

■ 小規模事業経営支援事業費補助金 (県内全域を対象とする関連事業)

- ・ 商工会等が行う小規模事業者の経営改善や中小企業振興対策に対する支援

③ 地域資源を生かし、つなげる、魅力ある観光地づくり

里山・里海の豊かな自然や伝統文化などの魅力を通じた、中山間地域ならではの価値を提供するため、観光客の滞在や周遊につながる観光プロダクトの開発に取り組むとともに、国内外の観光客が、快適かつ安全安心に、周遊観光を楽しむことができるよう、ストレスフリーな受入環境の整備等に取り組む。

主な指標	現状値	目標値
◇ 年間総観光客数（全域過疎市町）	(R3) 1,114万人	(R5) 1,709万人 (令和4年目標と同水準を維持)

【主な事業】

● 国内外の観光客に向けた観光資源の磨き上げと周遊促進

観光の枠にとらわれない幅広い事業者間連携による付加価値の高い観光プロダクトの開発や、観光地における快適なトイレの整備等の受入環境整備を促進

また、周遊促進に向け、隣県との共同事業やスキー場を活用した情報発信等を実施さらに、広島サミットを契機とした地域の魅力を発信

■ 観光地ひろしま推進事業 ※一部 230百万円

- ・ 新たなニーズを踏まえた付加価値の高い観光プロダクトの早期開発
- ・ 観光プロダクト開発促進のための幅広い事業者間ネットワークの強化及び専門家による事業化支援
- ・ 事業者等が行う観光プロダクト開発への補助
- ・ 広島サミットを契機とした観光客のV字回復に向けた、アジアや欧米豪に対するプロモーション

■ 広島サミットを契機とした地域の魅力発信事業（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ 広島サミット県民会議と連携し、アフターサミットの誘客につなげるため、首都圏などに対して本県の多様な魅力を発信

■ おもてなしトイレ整備事業 ※一部 132百万円

- ・ 観光地におけるおもてなしトイレの整備

■ 広島県観光事業振興負担事業 ※一部 13百万円

- ・ 広島県・島根県において、広域周遊観光の促進を図るための共同事業の実施
- ・ 関係市町及び県内スキー場と連携した雪山誘客のための情報発信やイベント等の実施

《トピックス》

■ 「和牛オリンピック」で、県内出品牛が高い評価を得ました

5年に一度開催される全国和牛能力共進会において、9区のうち4つの区で、最上位グループである「優等賞」を獲得

特に、今大会で新設された「脂肪の質」を重視して評価される7区において、全国3位と極めて高い評価を獲得

【第12回全国和牛能力共進会の結果（広島県）】

区 分			出 品 者	審査結果	
部	区	出品対象		出品牛の特徴	枝肉格付
種牛	1	若雄	「立烏帽子」を父に持つ雄牛	庄原市七塚町 畜産技術センター	●優等賞 11席
	2	若雌の1	繁殖雌牛	神石高原町 奥平 洋士 氏	●優等賞 14席 1等賞 4席
	3	若雌の2		庄原市峰田町 大迫 晴由 氏	
	4	系統雌牛群	県固有の系統雌牛群 (3頭)	神石高原町 下崎 善章 氏 庄原市峰田町 大迫 晴由 氏 庄原市東城町 石田 朋大 氏	1等賞 6席
	5	高等登録群	母-娘-孫の3代牛群 (3頭)	庄原市峰田町 大迫 一三 氏 庄原市峰田町 大迫 一三 氏 庄原市峰田町 大迫 一三 氏	1等賞 5席
種牛	6	総合評価群	「立烏帽子」を父に持つ雌牛群、肥育牛群 (雌牛群4頭) (肥育牛群3頭)	神石高原町 下崎 善章 氏 庄原市口和町 (農)ファーム金田 三次市上志和町 沖本 千鶴 氏 庄原市東城町 長田 直久 氏	1等賞 5席
肉牛				庄原市東城町 (株)ひば高原田中牧場	A4
				庄原市東城町 (株)ひば高原田中牧場 三原市久井町 (有)久井牧場	A5 A3
肉牛	7	脂肪の質評価群	「芳乃照」を父に持つ肥育牛群 (3頭)	東広島市安芸津町 (有)野山牧場 三次市布野町 (株)のぼ牧場 東広島市安芸津町 (有)野山牧場	A5 ●優等賞 3席 A5 A5
	8	去勢肥育牛	「沖茂神竜」を父に持つ肥育牛	東広島市安芸津町 (有)野山牧場	A5 1等賞
種牛	特別	高校及び農業大学校	高校等で生産・飼育された繁殖雌牛	庄原市西本町 県立庄原実業高等学校	●優等賞 18席



広島県の出展PRブース



特別区審査へ先陣を切る高校生

《トピックス》

■ 中山間地域へ、企業進出が進んでいます

中山間地域における新しいワークスタイルの定着と企業誘致を促進するため、遊休施設を活用した「お試しオフィス」を整備

各市町で企業の進出が進み、進出企業と地域の連携が進展

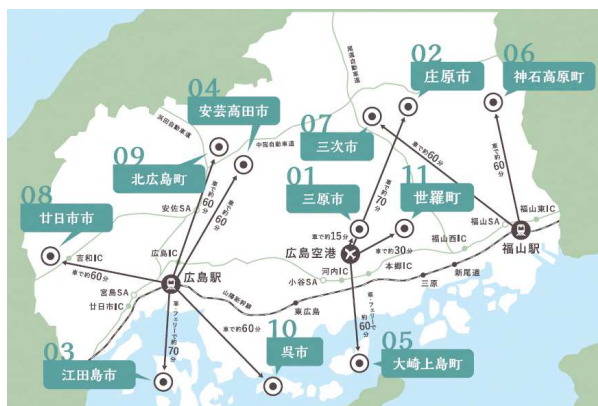
【進出決定企業数（業種別）】

業 種	H30	R1	R2	R3	R4 (12月末)	合計
情報通信	1		6	5	2	14
製 造	2	2		1	1	6
サービ	1		2	3	5	11
そ の 他		4			1	5
合 計	4	6	8	9	9	36

【お試しオフィス等設置市町】

市 町	お試しオフィス(注)
呉 市	梶ヶ浜コワーキングスペース
三 原 市	旧和木小学校
三 次 市	ハイツカ湖畔の森
庄 原 市	おいでん彩／吾妻ロッジ36
廿 日 市 市	森の館
安芸高田市	緑の交流空間
江田島市	フウド〔風・海・土〕
大崎上島町	旧商工会木江支所
北 広 島 町	旧川迫小学校
神石高原町	油木山村開発センター
世 羅 町	世羅町お試しオフィス(R5～)

【お試しオフィス位置図】



注)お試しオフィス:遊休施設等を利用して市町が整備した短期間の体験勤務ができるオフィス

【市町での動き】

情報通信業の企業進出が進み、地元小学校へのプログラミング教育の支援や、地域住民がXR(AR・VRなどリアルとデジタルを掛け合わせる技術)を学ぶことができる授業の実施等、進出企業と地域の連携が進展



廃園となった幼稚園をサテライトオフィスに改修
(江田島市)



江田島市進出企業による
プログラミング教室の様子



神石高原町進出企業による
XRスクールの様子

(3) 安心を支える **生活環境** づくり

R5予算額 **34.7 億円**

目指す姿

第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画(抜粋)

- ◆ 医療・介護の資源に限りがある中で、安心して質の高い医療を受けることができるよう、基幹的なへき地医療拠点病院が中心となった、他の中小規模の医療機関への医師派遣や広域的な人材育成などを通じた地域の医療機関のネットワークの構築、デジタル技術を活用した診療支援等により、医療提供体制の強化が進んでいます。
- ◆ また、介護を必要とする人も、住み慣れた身近な地域で安心して暮らすことができるよう、要介護者の状態に応じて、地域の医療・介護関係者が連携した最適な組み合わせで、在宅医療や介護サービスなどが提供されています。
- ◆ 地域や関係団体、企業、行政が連携して、日常生活に直結する様々なサービスについて、デジタル技術を活用して効率的に提供するための仕組みづくりが進み、スマートな里山づくりに向けたモデル的な取組が中山間地域全域に広がり始めています。
- ◆ とりわけ、交通アクセスについては、広域的な道路網と地域内の交通基盤が整備され、地域と都市を結ぶ広域幹線交通が維持されているとともに、新たな交通サービスの普及と地域の実情に応じた交通再編が進み、買物や通院等の日常生活の移動が確保されています。
- ◆ ネウボラを通じた子供や子育て家庭を支援する環境の構築に向けて、ほぼ全ての市町にネウボラの拠点が設置され、子育て家庭に関わる関係機関と市町のネウボラ拠点との間において、必要な情報が共有されています。
- ◆ 里山・里海の豊かな自然環境や水源かん養などの機能が、引き続き、維持・保全されています。また、災害を未然に防止し、局地的豪雨や地震、高潮等による災害時の被害を最小限にするための防災施設の整備が計画的に進むとともに、災害から命を守るための行動が実践されています。
- ◆ また、新型コロナ等による健康危機事例を踏まえ、平常時から健康危機の発生を未然に防止するための監視業務が適切に行われるとともに、緊急事態に備えた医療提供体制など、健康危機に適切に対応するための仕組みが構築されています。

《目指す姿を実現するための施策》

医療・介護

① 地域医療・介護 提供体制の確保

主な枠組み

- 医師等医療従事者の確保・育成
- 医療連携体制の維持・強化
- 地域包括ケア体制の確立

居住環境

② 地域特性に応じた 居住環境の整備

主な枠組み

- デジタル技術を活用した暮らしの向上
- 持続可能な生活交通体系の構築
- 社会環境の変化に対応したライフラインの維持

子育て支援

③ 子育て環境の充実

主な枠組み

- 妊娠期からの切れ目のない見守り・支援の充実
- 子供の居場所の充実

環境保全

④ 里山・里海の環境保全

主な枠組み

- 森林の公益的機能の維持・発揮
- 地域資源を活用した
再生可能エネルギーの利用促進
- 廃棄物の適正処理と
海洋プラスチックごみの流出防止

危機管理

⑤ 危機対処能力の向上

主な枠組み

- 災害対処能力の向上
- 健康危機対応能力の強化

① 地域医療・介護提供体制の確保

高齢化が進む中山間地域の医師不足の状況を踏まえ、地域に必要な医療体制を確保するため、若手医師の確保などに取り組むとともに、無医地区等への巡回診療など、へき地医療等の医療提供体制の維持・確保を図る。

また、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスが切れ目なく一体的に提供される地域包括ケア体制を構築する。

主な指標	現状値	目標値
◇ 医療施設従事医師数 (全域過疎市町)[人口10万人対]	(R2) 200.0人	(R6) 217.1以上
◇ 医療や介護が必要になっても、 安心して暮らし続けられると思う者 の割合	(R4) 50.2%	(R7) 55.6%

【主な事業】

● 医師等医療従事者の確保・育成、医療連携体制の維持・強化

中山間地域等に就業する医師の確保を図るため、県地域医療支援センター等による医師確保に向けた取組を推進するとともに、無医地区等における安心な医療サービスの提供に向けて、へき地医療拠点病院による巡回診療などにより必要な医療提供体制を確保

- 地域医療介護総合確保事業 ※一部 480百万円
 - ・ 広島大学ふるさと枠・岡山大学地域枠の医学生への奨学金の貸付
 - ・ 広島大学医学部寄付講座の運営支援
 - ・ 地域医療支援センター等による医師確保 など
- 地域医療体制確保事業(へき地医療等) ※一部 57百万円
 - ・ へき地医療拠点病院の機能連携及びへき地診療所の運営への支援

● 地域包括ケア体制の確立

高齢化や医療、介護の社会資源等の地域特性に応じた地域包括ケア体制を構築

- (再掲)地域医療介護総合確保事業 ※一部 101百万円
 - ・ 地域包括ケアシステムの質の向上に向けた、人材育成・アドバイザー派遣等の重点的な市町支援

② 地域特性に応じた居住環境の整備

日常生活に直結する様々な分野にデジタル技術を積極的に取り込むことにより、中山間地域における暮らしを持続可能なものにするための市町の実施を支援する。

また、中山間地域における生活交通は日常生活に不可欠なことから、国や市町と連携して幹線的なバス路線や航路等の維持・確保を図るとともに、デジタル技術を活用したMaaS^(注)など新たな交通サービスの導入に向けた支援を行う。

注) MaaS (マース) (Mobility as a Service)

出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動を手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念

主な指標	現状値	目標値
◇ デジタル技術を活用した課題解決モデルの創出	(R3) 3件	(R5) 8件

【主な事業】

● デジタル技術を活用した暮らしの向上

生活に身近な分野において、中山間地域の課題解決に資する、デジタル技術を活用した新たなサービスを導入しようとする市町を支援し、中山間地域における取組モデルを創出するとともに、全県的なDXを推進

■ デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業 100百万円

- ・ 事業の実装に向けた、市町の課題分析や成果測定指標の設定等に係る伴走支援
- ・ デジタル技術を活用したサービスを通じて、身近な生活課題等の解決を図る市町の実装に向けた取組を支援

■ 広島県デジタルトランスフォーメーション推進事業【一部新規】 ※一部

(県内全域を対象とする関連事業)

「広島県DX加速プラン」に基づき、民間事業者等に対するDXへの理解・実践意識の醸成やDXの取組を後押しすることにより、全県的なDXを推進する。

- ・ 意識醸成から実践までのモデルケースの創出(新規)
- ・ 実践(横展開)が容易な取組事例等の見える化(新規)
- ・ 民間事業者等・県・市町を対象とした研修やセミナーの開催 など

● 持続可能な生活交通体系の構築

地域の暮らしや経済活動を支える広域的な生活交通を維持・確保するため、国や市町と連携した路線や航路等の支援やデジタル技術を活用した新たな交通サービスの導入支援

- 広島型MaaS推進事業 68百万円
 - ・ 市町等に対する計画作成及び実証実験等への支援
 - ・ モビリティデータ基盤の構築 など
- 生活交通確保対策事業 464百万円
 - ・ 国や市町と連携した広域的・幹線的なバス路線への支援
- 市町生活交通支援事業 147百万円
 - ・ 市町が運行する路線バス、デマンド交通への支援
- 鉄道ネットワークを活かした中山間地域の魅力向上事業 20百万円
 - ・ 鉄道を核とした地域交通の利便性向上等に取り組む市町を支援
《対象路線》 JR芸備線, JR福塩線
- 離島交通対策事業 113百万円
 - ・ 国の補助制度を補完して、離島の唯一航路を支援
- 生活航路維持確保対策事業 108百万円
 - ・ 離島の暮らしの維持に不可欠な航路への支援
 - ・ 架橋で結ばれた地域の経済活動の維持に不可欠な時間短縮効果に優れた航路への支援
- 広島県地域公共交通ビジョン策定事業 (県内全域を対象とする関連事業)
 - ・ 県全体の地域公共交通政策のマスタープランとして、「広島県地域公共交通ビジョン」を策定

● 社会環境の変化に対応したライフラインの維持

日常生活に不可欠な水道や下水道などの維持・確保を図るため、計画的かつ効率的な整備及び管理を行うとともに、持続可能な運営に向けて広域連携などの取組を推進

- 水道広域連携推進事業 (県内全域を対象とする関連事業)
 - ・ 「広島県水道広域連携推進方針」に基づき、「統合以外の連携」を選択した7市町と具体的な連携方策を検討・実施
 - ・ 「広島県水道広域連合企業団広域計画」に基づき、広島県水道広域連合企業団による円滑かつ着実な事業運営の推進

③ 子育て環境の充実

子育て環境は、若い世代の定住を促進する上で重要な要素であるため、中山間地域ならではの豊かな自然環境を活かし、多様化するニーズに応じた質の高い保育サービスの確保・充実を図るとともに、多様な主体の連携によって、どこに住んでいても安心して子育てできる環境づくりに市町と一体となって取り組む。

主な指標	現状値	目標値
◇ 安心して妊娠、出産、子育てができると思う者の割合 (ひろしま版ニューボラを実施している市町)	(R3) 80.7%	(R5) 84.0%

【主な事業】

● 妊娠期からの切れ目のない見守り・支援の充実

すべての子供と子育て家庭が安心して暮らし、子育てができるよう、子供を取り巻く関係機関が連携し、妊娠期からの切れ目のない見守り・支援を行うとともに、児童虐待などの様々なリスクを早期に把握し、リスクが重篤化する前に必要な支援を届ける仕組みを構築

■ 子供の予防的支援構築事業 ※一部 58百万円

- ・ AIを活用した子供の予防的支援の仕組みを構築
- ・ 紙カルテでの運用が中心の母子保健データをデジタル化するシステムの開発

■ ひろしま版ニューボラ構築事業【一部新規】（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ ひろしま版ニューボラの全県展開に向け、市町と理念を共有した上で、あるべき機能や体制を整理した基本型に基づく取組に要する経費等を支援
- ・ 専門職の確保や業務の質の向上を図るため、ガイドラインに沿った研修を実施 など

● 子供の居場所の充実

豊かな自然環境を活用した体験活動を取り入れた保育・幼児教育の普及を図るとともに、多様な保育サービス等の充実を図るため、認定こども園等の整備、保育士等の人材確保を実施

■ 多様な保育サービス充実事業 ※一部 13百万円

- ・ ひろしま自然保育認証制度に基づく認証団体の支援

■ 未来をはぐくむ「ひろしま安心保育」推進事業（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ 保育士人材バンクの運営による潜在保育士等と保育施設のマッチング など

④ 里山・里海の環境保全

森林の有する公益的機能の維持・発揮に向けて、多様な主体による自主的・継続的な森林保全活動を各地域へ拡大させ、県民参加の森づくりを進める。

また、地域の環境の保全に向けて、地域資源を活用した再生可能エネルギーの利用促進や海ごみの発生抑制、廃棄物の適正処理などを進める。

主な指標	現状値	目標値
◇ 手入れ不足の人工林の年間間伐面積	(R3) 826ha	(R5) 1,010ha
◇ 3品目の海岸漂着物 (ペットボトル, プラスチックボトル, レジ袋)	(R3) 5.1t	(R5) 8.3t

【主な事業】

● 森林の公益的機能の維持・発揮

県民全体が享受している県土の保全や水源のかん養など森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、県民全体で森林を守り育てる事業を実施

■ ひろしまの森づくり事業 ※一部 1,008百万円

- ・ 県民生活への影響が大きいと想定される森林の集中的な整備等を実施
- ・ 地域が抱える里山林の課題解決に向けた取組の推進や、地域住民等が里山林を継続して管理できる体制づくりを支援
- ・ 森林資源の利用促進に向けた、木造建築物における県産材利用拡大の推進
- ・ 市町と連携した取組内容や成果の広報による、県民理解の促進 など

● 地域資源を活用した再生可能エネルギーの利用促進

本県の豊富な森林資源を生かし、市町や住民団体等が一体となって、里山の手入れによって搬出された未利用材を地域で熱利用するなど、地球温暖化の防止に向けて、木質バイオマス等の再生可能エネルギーの利用を促進

■ 里山バイオマス利用拡大支援事業 5百万円

- ・ 市町や住民団体などが一体となって、里山の木質バイオマスの利用拡大が図られるよう、普及啓発や地域への支援を実施

● 廃棄物の適正処理と海洋プラスチックごみの流出防止

廃棄物の適正処理のため、パトロールの実施等による不法投棄防止対策等の推進や市町が実施する不法投棄防止対策等を支援するとともに、海洋プラスチックごみの流出防止に向け、発生抑制対策の推進や市町が実施する回収・処理の取組を支援

■ 産業廃棄物埋立税活用事業 ※一部（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ 市町が実施する不法投棄防止対策等の支援
- ・ 産業廃棄物の不法投棄監視体制の構築・強化

■ 海ごみ対策推進事業【一部新規】 120百万円

- ・ 海ごみ対策プラットフォームの運営
- ・ 参画企業と連携した、プラスチック使用量削減に向けたモデル事業の実施
- ・ 屋外回収拠点の多様化による流出防止対策モデル事業の実施
- ・ 微細マイクロプラスチック共同研究の実施(新規)
- ・ 海岸漂着ごみの実態把握調査
- ・ 市町が実施する海ごみ対策への補助

⑤ 危機対処能力の向上

いつ起こるか分からない災害から命を守るため、県民一人一人が自らの判断に基づき、適切な避難行動を実践することができるよう、自助、共助、公助にわたる、より効果の高い被害防止策を実施する。

主な指標	現状値	目標値
◇ 避難の準備行動ができている人の割合	(R3) 4.0%	(R5) 38.0%

【主な事業】

● 災害対処能力の向上

「災害死ゼロ」を目指し、県民一人一人が、災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう、県民、自主防災組織、事業者、行政等が一体となって県民総ぐるみ運動を推進

■ 「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」推進事業【一部新規】

(県内全域を対象とする関連事業)

- ・ 防災教育を実践する推進員による小学校等での出前講座の実施や、中学校におけるeラーニング教材の制作及びモデル校での展開(一部新規)
- ・ 自主防災組織における呼びかけ体制構築、維持・充実とマイ・タイムラインの作成を一体的に進める「地域防災タイムライン(仮称)」の普及(新規)
- ・ LINEを活用したマイ・タイムラインの普及促進(新規) など

● 健康危機対応能力の強化

感染症発生時においても必要な医療サービスが提供できるよう、関係機関が連携して迅速かつ的確な対応を図るための研修会を開催するなど、医療提供体制を充実・強化

■ 新型コロナウイルス感染症対策事業【一部新規】 ※一部

(県内全域を対象とする関連事業)

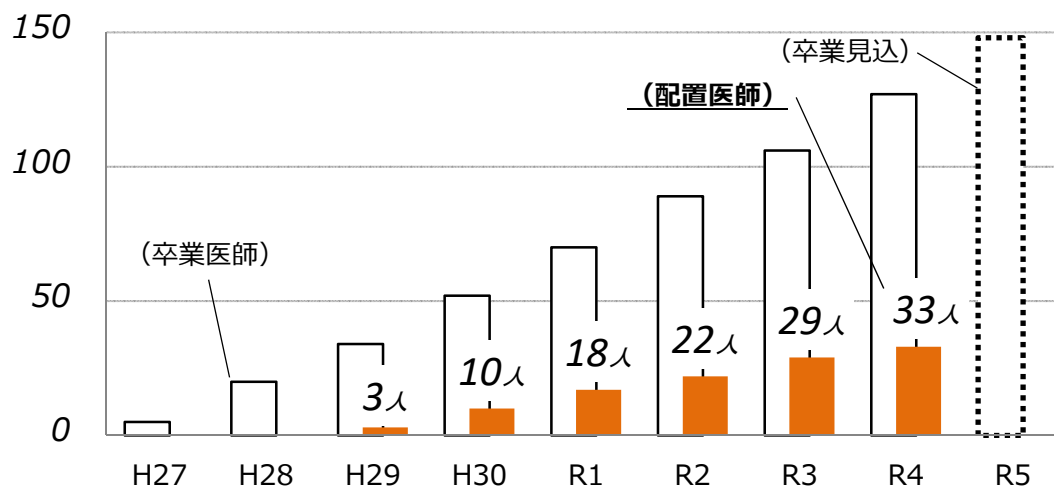
- ・ 感染症対応の事業継続計画策定のための研修を開催

《トピックス》

■ 若手医師の活躍が広がっています

中山間地域に必要な医療体制を確保・維持していくため、広島大学や岡山大学と連携して確保・育成してきた「地域医療を志す医学生」が、2年間の初期臨床研修を修了後、順次、中山間地域の指定医療機関等での勤務をスタートしており、配置医師数は順調に増加

【ふるさと枠医師数（見込み）】



【制度の概要】

開設時期	平成21年度～
種別	・ 広島大学 ふるさと枠 (R5入学定員: 18名) ・ 岡山大学 地域枠 (R5入学定員: 2名)
特色	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 広島県医師育成奨学金貸与 ➢ 地域医療セミナー等による地域医療マインドの醸成



中山間地域で勤務している若手医師



地域医療セミナーで機器の使用体験を行う医学生



地域医療を志す医学生



地域医療実習の様子

《トピックス》

■ デジタル技術を活用して課題解決に取り組む市町が増えています

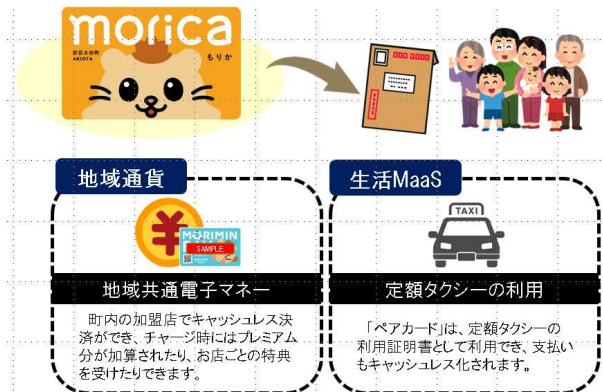
中山間地域が抱える生活に身近な課題について、デジタル技術を活用して解決するための新たなサービスを導入しようとする市町の取組を支援し、中山間地域に住む県民が安心して暮らすことができる生活環境づくりを推進

【支援市町（令和4年度分）】 ※採択順

市町	取組内容
1 神石高原町	ウェアラブル端末を使った予防医療体制整備事業 (取組内容は下記のとおり)
2 安芸太田町	安芸太田町DX共通基盤構築事業 (取組内容は下記のとおり)
3 三次市	観光分野から始める三次版スマートシティ 『田園都市×デジタル～つながるみよし』実装事業
4 廿日市市	吉和地域暮らしのDX推進事業 (見守り・医療・学習などのDX化を推進)
5 府中市	ドローンを活用した集落環境調査及び 鳥獣生息状況調査の組み合わせによる鳥獣害対策事業

【安芸太田町での取組】

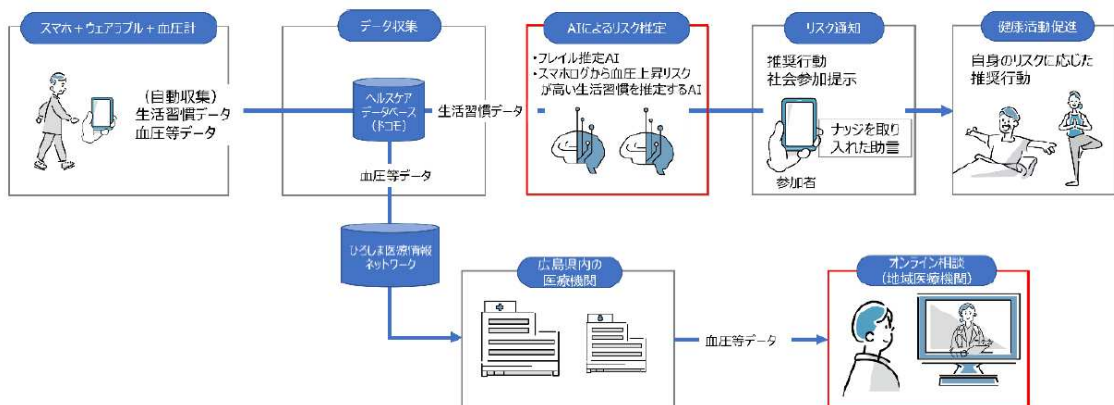
行政事務の効率化、住民サービスの向上等を実現させるため、公共交通、観光、産業、福祉、教育、医療、防犯、防災などの統合的なデータ基盤を構築し、併せて地域通貨の仕組みを導入



安芸太田町
地域通貨の仕組み

【神石高原町での取組】

ウェアラブル端末を活用して、健康なうちから町民の健康意識を啓発する取組により行動変容を促進するなど、“予防”を重視した医療体制の構築を目指した取組



神石高原町事業イメージ



《トピックス》

■ 美しく恵み豊かな瀬戸内海を未来を守るため、 “海洋プラスチックごみゼロ”に向けた取組が進んでいます

2050年までに瀬戸内海に新たに流出するプラスチックごみゼロを目指し、令和3年6月、「海洋プラスチックごみゼロ宣言」を行うとともに、官民連携の推進組織として、「GREEN SEA瀬戸内ひろしま・プラットフォーム」(略称GSHIP(ジーシップ))を設立
参画会員等と連携しながら、海洋プラスチックごみ削減に向けた取組を推進

【GSHIPの概要】

名 称	「GREEN SEA瀬戸内ひろしま・プラットフォーム」(略称GSHIP(ジーシップ))
設立時期	令和3年6月
参画会員数	102団体(R5.1.24時点)
参画会員の 特徴	製造, 流通, 消費, リサイクル, 行政(県内全23市町)など, 活動の趣旨に賛同する幅広い業種の企業・団体

【4つのキーアクション（取組の柱）と取組の一例】

①プラスチックの使用量削減

■ 中四国初となる、容器再利用(リユース)による循環型ショッピングプラットフォーム「Loop」



■ お好み焼容器の代替素材化(バガスモールド製)の開発・導入・普及促進活動



②プラスチックごみの流出防止

■ IoTスマートごみ箱を活用した屋外でのごみ回収拠点の多様化に係る効果検証



■ 新機能リサイクルボックスの普及促進・ナッジを活用した周辺の散乱防止に係る効果検証



③プラスチックごみの清掃・回収

■ GSHIP会員等と連携した海岸清掃活動の実施



④情報の発信・収集・共有

■ 海ごみ関連情報統一サイトの開設



《参考》

- 中山間地域の振興に関わりの深い事業(一覧)
- 県内全域を対象とする関連事業(一覧)

《参考》 中山間地域の振興に関わりの深い事業(一覧)

(単位:百万円)

区分	事業名	新規等	事業費	局		
人づくり	協働・連携・交流	ひろしま里山・人材力加速事業	一部新規	39	地域	
		元気さとやま応援プロジェクト		53	地域	
		ひろしま里山ウェーブ拡大プロジェクト		19	地域	
		ひろしま版里山エコシステム構築事業		16	地域	
		住民自治組織持続可能性創出モデル推進事業	新規	5	地域	
		中山間地域活性化推進費	一部新規	20	地域	
		中国地方中山間地域振興事業		1	地域	
		スポーツを活用した地域活性化推進事業		7	地域	
	移住	ひろしまスタイル定住促進事業	一部新規	169	地域	
		空き家活用検討事業		9	土木	
	教育	中山間地域の次世代を担うリーダーの育成		非予算	教育	
		「学びの变革」推進事業 ※一部		23	教育	
		魅力ある高校づくり推進事業 ※一部		8	教育	
		「山・海・島」体験活動ステップアップ事業		16	教育	
	小計			384	計	
	仕事づくり	農林水産業	先進農業企業参入促進事業		14	農林
			経営力向上支援事業		89	農林
食のイノベーション推進事業				50	農林	
新規就農者育成総合対策事業				371	農林	
農地中間管理事業 ※一部				171	農林	
農地集積加速化支援事業			一部新規	81	農林	
農産物生産供給体制強化事業			【2月補正を含む】 一部新規	206	農林	
肥料価格高騰緊急対策事業			【2月補正】	115	農林	
ひろしま型スマート農業推進事業				178	農林	
家畜人工授精事業				30	農林	
広島和牛ブランド構築事業				38	農林	
広島和牛経営発展促進事業			一部新規	21	農林	
配合飼料価格高騰緊急対策事業			【2月補正】	2,822	農林	
酪農経営改善緊急支援事業			【2月補正】 新規	201	農林	
森林整備地域活動支援事業				21	農林	
森林経営管理推進事業 ※一部			一部新規	136	農林	
地域森林計画編成費 ※一部				27	農林	
林業・木材産業等競争力強化対策事業			【2月補正を含む】	469	農林	
水産業スマート化推進事業			一部新規	42	農林	
夏かき産地育成事業				10	農林	
瀬戸内水産資源増大対策事業				2	農林	
瀬戸内地魚のブランド化推進事業				18	農林	
栄養塩類対策調査費		11	農林			
漁業経営改善緊急支援事業	【2月補正】	50	農林			

区 分	事業名	新規等	事業費	局	
仕事づくり	農林水産業	集落営農活性化プロジェクト促進事業	17	農林	
		ひろしま地産地消推進事業	5	農林	
		6次産業化総合支援事業	24	農林	
		中山間地域等直接支払事業	2,163	農林	
		鳥獣害に強い集落等育成推進事業	210	農林	
		卸売市場整備事業	新規	39	農林
		広島サミットを契機とした県産農林水産物魅力発信事業	78	農林	
		農業・農村多面的機能支払事業	953	農林	
	事業展開・創業支援	チャレンジ・里山ワーク拡大事業	58	地域	
		中山間地域外部人材活用支援事業	一部新規	10	地域
		企業立地促進対策事業 ※一部	28	商工	
	観 光	観光地ひろしま推進事業 ※一部	230	商工	
		国際サイクリング大会開催費	7	商工	
		おもてなしトイレ整備事業 ※一部	132	商工	
		広島県観光事業振興負担事業 ※一部	13	商工	
小 計			9,140	計	
生活環境づくり	医療・介護	自治医科大学関係費	132	健康	
		地域医療介護総合確保事業 ※一部	581	健康	
		医療型短期入所施設補助事業	2	健康	
		地域医療体制確保事業(へき地医療等) ※一部	57	健康	
		へき地医療対策費(へき地等巡回診療費)	6	健康	
		医療施設整備費補助金(へき地医療拠点病院設備整備等) ※一部	109	健康	
	居住環境	デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業	100	地域	
		広島型MaaS推進事業	68	地域	
		生活交通確保対策事業	464	地域	
		市町生活交通支援事業	147	地域	
		鉄道ネットワークを活かした中山間地域の魅力向上事業	20	地域	
		離島交通対策事業	113	地域	
		生活航路維持確保対策事業	108	地域	
		交番・駐在所整備事業 ※一部	101	警察	
	子育て支援	子供の予防的支援構築事業 ※一部	58	健康	
		多様な保育サービス充実事業 ※一部	13	健康	
	環境保全	ひろしまの森づくり事業 ※一部	1,008	農林	
		里山バイオマス利用拡大支援事業	5	環境	
		国定公園等整備事業	【2月補正】	27	環境
		もみのき森林公園活性化事業	200	環境	
公園施設維持修繕事業 ※一部		31	環境		
海ごみ対策推進事業		一部新規	120	環境	
小 計			3,468		
合 計			12,992		

注)・端数処理の関係で積上げ数値と合計等が異なる場合がある。

・「※一部」と表記されている事業は、全体事業費のうち中山間地域に関わりの深い部分を対象としている。

《参考》 県内全域を対象とする関連事業(一覧)

(単位:百万円)

区 分	事業名	新規等	事業費	局	
人づくり	花と緑の連携推進事業		3	土木	
	外国人材の受入・共生対策事業 ※一部		48	地域	
	地域共生社会推進事業		28	健康	
	災害時メンタルヘルスケア推進事業		7	健康	
	スポーツを活用した地域活性化推進事業		89	地域	
	広域公園管理費		339	土木	
	けんみん文化祭開催事業		26	環境	
	地域文化拠点強化事業		20	環境	
	小中学校教育環境充実支援事業		14	教育	
仕事づくり	創業環境整備促進事業		115	商工	
	イノベーション・エコシステム形成事業 ※一部		61	商工	
	中小企業イノベーション促進支援事業		195	商工	
	イノベーション人材等育成・確保支援事業 ※一部		92	商工	
	アフターコロナ対応経営革新推進補助事業		88	商工	
	緊急時レジリエンス環境整備事業		30	商工	
	女性活躍促進・仕事と家庭の充実応援事業	一部新規	48	商工	
	離転職者等就業・キャリア形成支援事業 ※一部	一部新規	57	商工	
	働き方改革推進事業 ※一部	一部新規	78	商工	
	小規模事業経営支援事業費補助金		2,398	商工	
	観光	観光地ひろしま推進事業 ※一部	一部新規	649	商工
		広島サミットを契機とした地域の魅力発信事業		20	商工

(単位:百万円)

区分	事業名	新規等	事業費	局	
生活環境づくり	医療・介護	地域医療介護総合確保事業 ※一部	5,543	健康	
		地域医療構想推進事業	203	健康	
		医療資源偏在解消・地域医療体制確保推進事業	25	健康	
		ドクターヘリ事業	322	健康	
		新型コロナウイルス感染症対策事業 ※一部	一部新規	28,467	健康
		保険者機能強化支援事業		18	健康
		社会福祉人材育成センター設置事業		14	健康
	居住環境	広島県デジタルトランスフォーメーション推進事業 ※一部	一部新規	124	総務
		広島県地域公共交通ビジョン策定事業		30	地域
		水道広域連携推進事業		非予算	企業
		生活排水処理対策推進事業		99	環境
	子育て支援	子供の予防的支援構築事業 ※一部		12	健康
		ひろしま版ネウボラ構築事業	一部新規	144	健康
		「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プロジェクト		99	教育
		地域学校協働活動推進事業		54	教育
		地域子ども・子育て支援事業		3,508	健康
		幼稚園機能充実支援事業 ※一部		362	環境
		保育対策等促進事業		209	健康
		未来をはぐくむ「ひろしま安心保育」推進事業		201	健康
		子育て支援従事者の育成・資質向上事業		21	健康
		ひろしま子育て応援事業		28	健康
	環境保全	生物多様性保全推進事業		8	環境
		狩猟者育成事業		9	環境
		国定公園等整備事業		149	環境
		公園施設維持修繕事業 ※一部		312	環境
		産業廃棄物埋立税活用事業 ※一部		849	環境
		瀬戸内海環境保全推進事業 ※一部		1	環境
	危機管理	「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」推進事業	一部新規	328	危機
		建設技術者等雇用助成事業		20	土木
		防災と福祉の連携による個別計画策定促進事業		39	健康
		建設分野の革新技术活用推進事業		31	土木

注)・端数処理の関係で積上げ数値と合計等が異なる場合がある。

・「※一部」と表記されている事業は、全体事業費のうち中山間地域に関連する部分を対象としている。

(合計:45,634 百万円)